

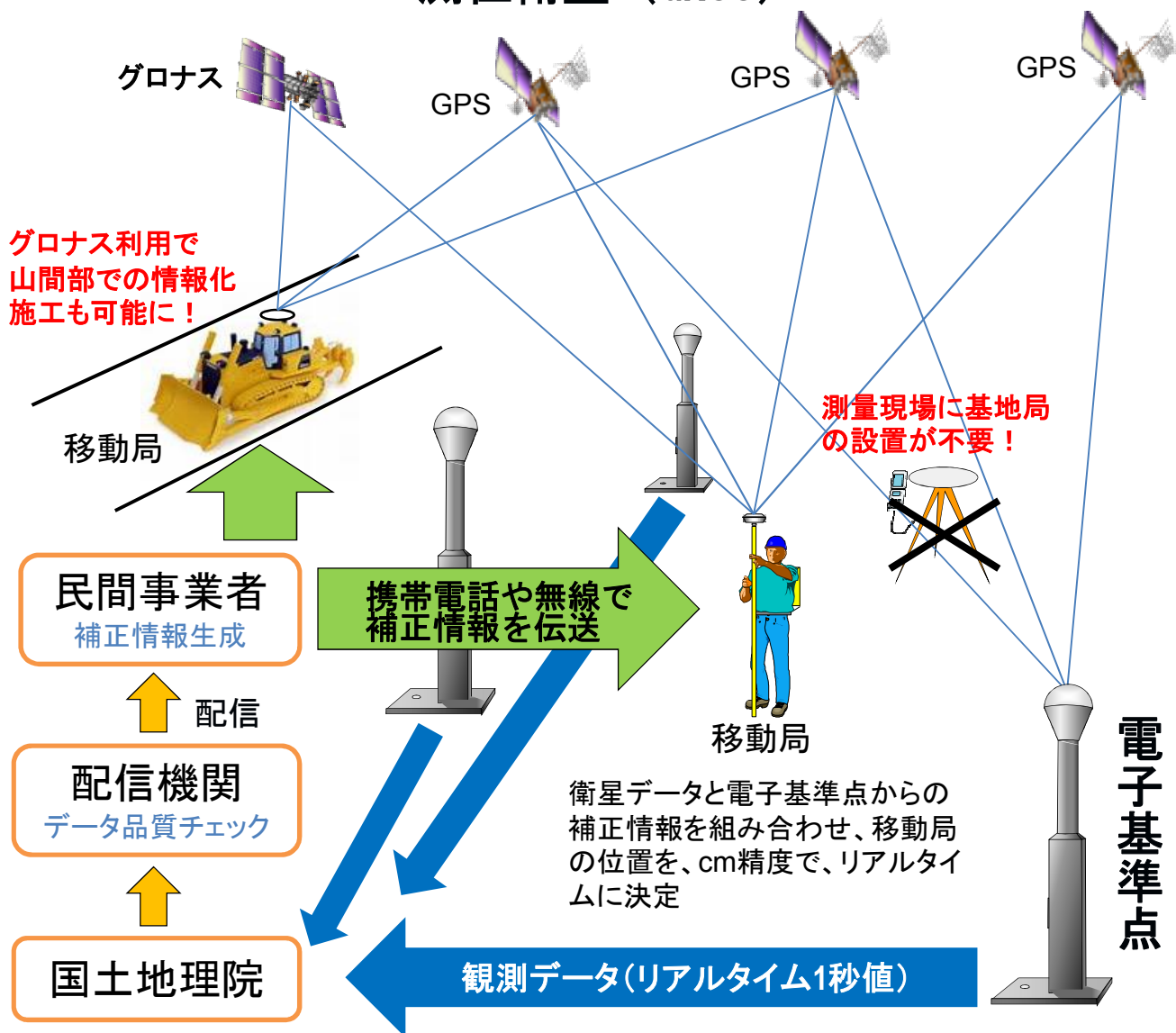
資料2. ネットワーク型RTK測量について

□ ネットワーク型RTK測量とは、利用者が現場で取得した衛星データと、周辺の電子基準点の観測データから作成された補正情報を組み合わせ、リアルタイムでcm級の測量を効率的に行う方式です(RTK:リアルタイム・キネマティック)。利用者が現場に基地局を設置する必要はありません。

□ 今まで、GPSデータを利用したネットワーク型RTK測量のサービスが民間事業者から提供されていましたが、今回、GPSとグロナスによるサービスが開始されることにより、GPSだけでは観測できる衛星数が少なかった場所や時間帯でも、測位精度の改善が期待されます。

□ このため、例えば、山間部を通る三陸自動車道の工事現場(登米志津川道路の鏡石地区)では、建設機械にGNSS受信機を取り付け、ネットワーク型RTK-GNSSを利用した情報化施工が行われています。

測位衛星 (GNSS)



ネットワーク型RTK測量の仕組み